

# 二輪草だより



平成29年1月号  
発行:二輪草センター

## センターの活動予定

- ◆2月28日(火) 第26回二輪草セミナー開催
- ◆2月下旬 二輪草プラン推進委員会議  
二輪草だより2月号発行



## 大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 参加報告



二輪草センター 助教 菅野恭子

この度は平成28年度大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会に参加させて頂きました。大学の女性医師支援の取り組みについて北海道大学と和歌山県立医科大学の取り組みの紹介がありました。北海道大学では平成22年から病児保育を開始されていますが、平成28年度の利用実績が1日あたり、1.46人とのことでした。また病児保育の必要性や病児保育の導入によって欠勤日数を減らせられるのではないかとのご発表がありました。当センターではH21年から病後児保育、H26年から病児保育を開始していますが、現時点で0.3人/日と、ここ最近の利用数が伸びていません。職員へのニーズアンケートでは、病児、病後時保育利用時の対応、手続きの簡略化を希望される意見がでました。当施設では利用する際、医師の診断書が必要でありそれがネックとなっているようです。連絡会後の意見交換会で福島県立医科大学の男女共同参画支援室である小宮ひろみ先生とお話しする機会があり、福島県立医科大学では病児保育担当の小児科医がいて利用前の診断から利用時に何かあった際の対応もしてくれているとのことでした。当センターでも多くの職員に利用して頂けるよう、何らか働きかけが必要であると考えました。和歌山県立医科大学のご発表の中で、9年間和歌山で働く地域医療枠を設けているそうですが、卒後3年目には男性は入学時の半分に減っているのに対して女性は数が減っていないのが印象的でした。女性医師の場合、復職後のサポートシステムが整っていれば、母校に在籍しやすいことの表れなのかもしれません。学会の取り組みとして日本産婦人科学会からは産婦人科医は増加しているそうですが、病院勤務医師のなかで、増加したのは妊娠・育児中の女性医師のみという現状を知ることができました。当直翌日の勤務緩和も実施されておらず産婦人科医の過重労働が改善していない様です。日本耳鼻咽喉科学会からは学会の役員における女性医師の比率が10~20%程度で意思決定の場に参画できている女性の割合は4%弱とのことでした。指定演者・座長に占める女性の比率も未だ少ないのが現状の様です。最後に女性のモチベーション、やる気、耳鼻科の楽しさを伝えることが大事とのことでしたが、これはどの科にも通じる事だと思いました。今回の会を通して学んだ他施設での工夫や取り組みを今後に活かしていければと考えております。



## 第26回 二輪草セミナー開催のお知らせ



日時:平成29年2月28日(火)17:10~18:00  
場所:臨床講義棟 臨床第3講義室  
対象:全職員・学生

女子学生  
必見!



## 「産婦人科医からみた 妊活期、妊娠期」

講師:産科婦人科 病院助教  
横浜 祐子先生

☆北海道医療新聞11月18日号に  
「看護師と助産師のための復職  
支援研修」受講者アンケートが  
紹介されました。  
詳しくは二輪草HPをクリック!

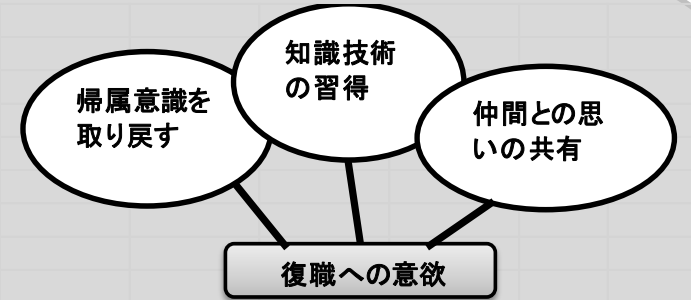


図6 研修の成果

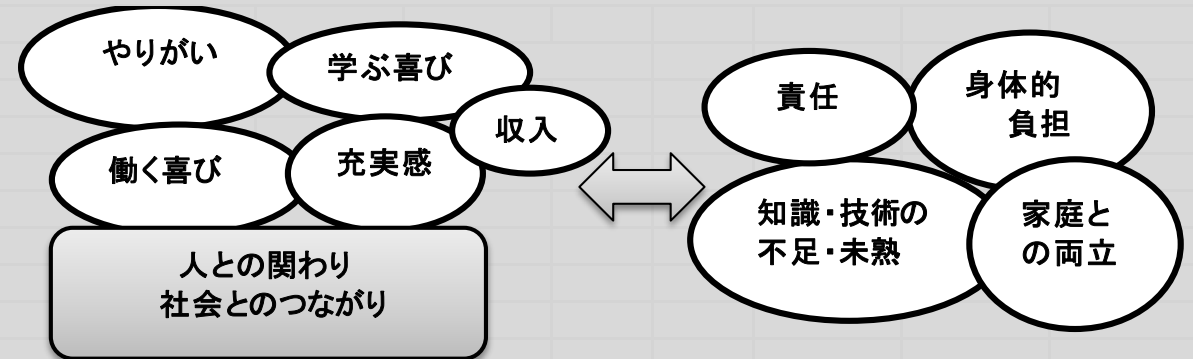


図7 復職してよかったこと・困難なこと

### 病児一時預かり室、バックアップナース、病児・病後児保育室、カウンセリング相談 【12月20日~1月19日までの利用状況】

利用種別	依頼回数	回数	利用回数	回数
病児一時預かり室	依頼回数	0回	利用回数	0回
バックアップナース	依頼回数	16回	稼働回数	16回
病児・病後児保育室	依頼回数	9回	利用回数	8回
カウンセリング相談			利用回数	9回

\* 病児一時預り室、病児・病後児保育室は全職員・学生がご利用になれます

【お問い合わせ先】旭川医科大学 二輪草センター(復職・子育て・介護支援センター)  
〒078-8510 北海道旭川市緑が丘東2条1丁目1-1  
TEL 0166-69-3240(内線3240) サンニンヨレ FAX 0166-69-3249  
開設時間8時30分~17時15分 E-mail: [nirinsou@asahikawa-med.ac.jp](mailto:nirinsou@asahikawa-med.ac.jp)  
ホームページ <http://www.asahikawa-med.ac.jp/hospital/nirinsou/>

